

# 2021年夏クォーター 産業組織論 シラバス

---

最終更新：3/19/2021

## 授業情報

- 担当教員：遠山 祐太
- E-mail: yuta-toyama@waseda.jp
- オフィス: 3-1233
- 授業時間: 火曜2限・金曜2限 (10:40-12:10)
- 教室: **オンライン講義**

## 【重要】今年度(2021年度)の留意点

1. 今年度は、**夏クォーターに週2回**での開講となります。授業開始後に履修取り消しができないため、授業登録前に本シラバスを理解することを強く推奨します。なお、来年度は春学期週1回開講の予定です。
2. 今年度は、講義は**Zoomを用いたフルオンライン**です。ただし、**成績評価については教場試験**に基づきます。
3. 今年度の成績評価は通常の**レター評価**になります。

## 授業概要

産業組織論(Industrial organization, IO) は、市場・産業における企業間の競争、及び消費者・社会へのその帰結を学ぶ、ミクロ経済学の一分野である。特に、入門的なミクロ経済学で扱う生産者行動モデルから一步進んだ、以下のような状況を分析する。

1. 完全競争(プライス・テイカー)ではなく、寡占・独占と呼ばれる企業数が少なく、企業同士の戦略的關係が重要になる状況。
2. 価格や生産量決定以外の意思決定。例えば、価格差別、製品品質の選択、談合、企業合併、参入・退出、広告、製品開発、など。

産業組織論は、ビジネス・スクールで学ぶ経営戦略論や、規制・競争政策といった経済政策論とも強く関連している。本授業では、経済モデルを用いた産業組織論の理論的分析を中心する一方、同時にビジネス・政策の実例を取り上げることを通じて、産業組織論の理論が現実にもどのように活用できるかについても学んでいく。

## 前提科目

学部一年生向けの経済数学入門、ミクロ経済学入門、ゲーム理論入門の履修を前提とする。授業は微分や最適化等の解析手法の理解を前提をして進める。また、ミクロ経済学A・Bやゲーム理論の履修についても推奨する。

## 教科書・参考書

配布する授業スライドに基づく。授業スライドは以下の教科書などに基づく。どちらか一冊を手元に置くことを勧める。

- 花園誠 "産業組織とビジネスの経済学"
- 小田切宏之 "産業組織論"

その他、関連する資料及び練習問題・解答を適宜配布する。

## 授業形態

Web会議ツール**Zoom Meeting**を利用して授業のリアルタイム配信を行う。

1. MoodleにおいてZoomへのリンクを掲載する。
2. 授業中の発言・質問に際しては、直接の発言及びチャット機能のいずれでも構わない。
3. 授業は録画・録音し、授業後にMoodleにアップロードする予定。

## 授業評価

今年度は通常のレター評価を行う。

- Moodle上でのクイズ： **20%**
- 独占禁止法教室への参加及びアンケート: **5%**
- 教場での期末試験: **75%**

~~クイズについて5回程度の予定。クイズ及び期末試験の詳細については追って連絡する。~~ 【追記：3月19日】クイズについては以下を参照してください。

期末試験は教場で行う。参考として過去問をMoodleに掲載する。

## クイズについて

毎授業後に、簡単な復習問題の解答、及び授業で扱った内容へのコメント・質問等の記入をMoodleで行う。コメントや質問については、内容に応じて翌週の授業で簡単に取り上げる。スケジュールは以下のとおり。

- 金曜日の授業：翌週水曜日の日本時間夜23時締切→翌週金曜日にコメント
- 火曜日の授業：同週日曜日の日本時間夜23時締切→翌週火曜日にコメント

クイズについては最大で12回分の予定。1回2点とし、最大で20点とする。

## その他重要事項

- オフィスアワーについては、Zoomを通じて行う。詳細については追って連絡する。
- 授業に関する連絡はMoodleを通じて行う。(CourseN@viは使用しない)
- **最終的な授業評価について、特別な事情の考慮は一切行わない。**

## 授業スケジュール

授業は全15回(最後1回は期末試験)。なお、進捗に応じてカバーする内容については変更する。

Lecture	Topic	Note
1	イントロダクション, 独占	
2	価格差別 1	

Lecture	Topic	Note
3	価格差別 2	
4	寡占競争	
5	カルテル	
6	製品差別化1	
7	製品差別化2	
8	企業合併	
9	市場構造	
10	参入阻止	
11	垂直的取引関係	
12	独占禁止法教室	予定変更有
13	研究開発	
14	プラットフォーム市場	
15	期末試験	

## 授業の概略(進捗に応じて変更する)

1. イントロダクション、独占企業
  - 産業組織論とは何か？ 独占企業の意味決定モデル、独占の社会厚生への影響、需要関数と価格弾力性
  - ケース：日本の携帯電話市場
2. 価格差別1
  - 第一種価格差別、第三種価格差別、パーソナライズドプライシング
  - ケース：航空券価格、ネットサービスにおけるパーソナライズドプライシング
3. 価格差別2
  - 第二種価格差別、誘引両立性制約と参加制約、非線形価格付け
  - ケース：ソフトウェアのバージョン
4. 寡占競争
  - ゲーム理論の復習、ベルトラン競争モデル、クールノー競争モデル
5. カルテル
  - 繰り返しゲーム、独占禁止法入門
  - ケース：ビタミンカルテル、公共事業における談合の検知
6. 製品差別化1
  - 差別化財ベルトラン競争、水平的差別化
  - ケース：アメリカのコーンフレイク市場
7. 製品差別化2
  - 垂直的差別化モデル、離散選択需要モデル
  - ケース：きのこの山 VS たけのこの里
8. 企業合併
  - 合併による反競争効果と効率性向上効果、ウィリアムソンのトレードオフ

- ケース: 現代・起亜自動車の合併
- 9. 市場構造
  - 市場画定、寡占度の指標、ハーフィンダール指数、参入モデル、過剰参入
  - ケース：アメリカにおける産業寡占
- 10. 参入阻止
  - シュタツケルベルグモデル、参入モデル、略奪的価格付け
  - ケース：ジャニーズ事務所 VS 「新しい地図」
- 11. 垂直的取引関係
  - 二重の限界化、垂直的統合、ライバル企業の排除
  - ケース：ケーブルテレビ市場における垂直的統合
- 12. 独占禁止法教室
  - 公正取引委員会の職員の方による、独占禁止法実務の紹介
- 13. 研究開発
  - シュンペーター効果、知的財産権
  - ケース：「イノベーターのジレンマ」への経済学的アプローチ
- 14. プラットフォーム市場
  - ネットワーク効果
  - ケース：未定
- 15. 期末試験